

乱世に情熱と信念で突き進む

姓は石橋、名は
りゆう

竜史が

ゆく



石橋りゆうじ
著

フリー・アナウンサー
マイク命

4万部突破

ドラマ化未決定!
捨てる前に読む!

石橋竜史 りゆう じ 47歳



はじめに

「ゴーリー！」　只今の得点は、サンフレッチェ広島あ！』

かつては広域公園の放送席をはじめ、各テレビやラジオ局が私の職場でした。国内外で20年以上もマイクを握り、ひたすらアナウンス業に没頭する日々。

しかし、遅まきながら「自己の確立」から「他者の幸せ」までも願う、

そんな転機のキッカケとなつたのが、我が「娘の誕生」でもありました。

か弱く純粋なる小さな命、その尊さに改めて気づかされては衝動に駆られ、まず動き出したのが、遡ること12年前となる「スマイル・シート」です。

これは、重病と闘う子ども（家族）を「サンフレッチェの試合に招待する」取組であり、開始後には賛同者も「当時の全選手」にまで広がりを見せ、

その後、のべ数百組、数千人にも上る事業へと発展して行きました。

余命いくばくと告げられた少年が「初めてのスタジアム」に感動を覚えては「来年も必ず来るね」と誓い、次年度に約束を果たしてくれたことも。

笑顔の椅子は教えてくれました。「まだまだ世に増える笑顔は存在する」と。

第一章 持ちつ持たれつ

事故や犯罪に巻き込まれた時は警察が、火災や災害時には消防が、

すぐに電話一本で駆け付けてくれますが、警察官や消防士の「日々を支える」年間「数兆円」にも上る費用は、皆の「税金」で運営しているのが実際です。「次世代の宝」とも言われる「お子さん」が学ぶ義務教育では、一人あたり、小中学校の9年間で「一千万円弱」の費用が必要となります。この費用は？ 子どもを持つ家庭、持たない家庭を問わず「社会全体」で捻出しては、

「子ども達の学ぶ環境」が、時代を問わず守られています。有り難いですね。ひとたび移動する際に利用する道路や、街中に設置された信号機一つにせよ。その建設から維持管理までの莫大な費用が「個人負担」であつたなら？

「生涯を通じ、ようやく近所まで道路を数十mほど伸ばせたよ」なんて話に。また病気やケガで病院へ行き、多くの人々は「治療費の3割」負担ですが、人々の命を守る「医療システム」も、病院へ行く人、行かない人など関係なく、「社会全体」で負担し合っては運営、運用がなされています。ハイ。

第二章 プロット（仕組み）

人は誰も、現在の年齢を迎えるまで「社会」の中に身をおいてきた限り、過去、現在、未来の人々から何らかの「恩恵」を必ずや受けています。

南洋の孤島で自給自足の生活でもしない限り、「例外」は存在しません。

また社会には無数の営みがありますが、個々が好き勝手に行動すると混乱に陥ってしまうので、基本的なルールが幾つも定められています。

ならば「税金の使途」や「社会のルール」を誰が決めているのでしょうか？

世の中には「人の数だけ」好みや主義主張、生活スタイルの違いがあり、みんなで「みんなが満足する」結論を導き出すことは、容易ではありません。

時には、そのプロセスに「専門的なデータや知識に経験」が必要な場合も。

しかも話し合いの度に全国民が一力所に集うことは実質、不可能ですよね？

そこで「私には仕事や学校があるので、この件は、あの人にお願いしよう」

この「代議制」を採用する大事な出発点が「選挙」であり、選ばれた議員で

「税金の使い方や社会のルール」を決めるのが「政治でも」あります。

第三章 責任に点火する

時に「選挙や政治では何も変わらない」と口にされる人々がいらっしゃれば。他に「自分で人生を切り拓くので他人の力は不要、政治にも興味はない」と。こうした思想の人々もいらっしゃるので、改めて一緒に考えてみましょう。

人々の生涯を振り返れば、「政治とは全く無関係である」構造、物事を見つけるほうが難しく、つまり政治とは「生活そのもの」でもあります。

更に政治とは、様々な「決断」（方向や方針の決定）をした後、

今日、明日に結果（変化や成果）が現れるモノばかりではありません。

むしろ「今の政治」は、「今の世の中」を良くする以上に、私達の：

「子どもや孫の世代」が暮らす「未来を築くため」と言つて、過言ではなく。「自らも恩恵に与った」通り、誰もが次世代への「責任」を抱えています。

今ここで「種を植える労力」を惜しみば、後に芽が出ては、花が咲くことも、実を結ぶことも見込めないのは、自然の摂理。

これは、今を築いた「先達」に、これから「私達」がなることを意味します。

第四章 脣面も無く、語らせて下さい

私達は、遙か昔より先人の方々が長い時を経ながら、懸命に築き、守り、現世に残して下さった、「贈り物であり宝物」である、この街に住まい。また「市民の皆様」は、この世へ祝福と共に「生」を受けた、

一人一人その誰もが愛されるべき「尊い存在」に違ひなく。

縁あつて私達は、同じ時代に同じ街で暮らす「仲間」と呼べる間柄ですが、仲間の誰か一人でも悲しい思いを抱く時、「總じて」幸せなのでしょうか。「大海の一滴」であろうとも、一人の存在は必ず、周囲へ笑顔を届け得る。まずは温かい手の届く家族から、周囲から改めて、お互いに始めましょう。

あとがき

私は、過去8年間の議員経験を基に、引き続き「市民ニーズ」と行政を最短距離で適格に結び、慣例に囚われず「あらゆる手」を尽くした上で、議会と行政が「調和をもつて前進する」環境を築くことを、お約束します。

お乗り間違えのないように。
いざ、出発進行!



石 橋

いしばし
Ishibashi

過去



明るい未来

Kako

AkaruiMirai

常に現場を飛び回る「司会も出来る市会議員」

コミュニケーション能力

人と「対話」する事が大好きな性分。
国内外で多くの人々と「友情」を築いてきました。

幅広いネットワーク

今まで多種多様なる業界の人々との出会いを通じ、
幅広い「人脈」(財産)を培ってきました。

バランス感覚

広島の「内外」で暮らしてきた経験を基に、
現況を俯瞰、客観的に捉えた上で行動します。

無限蔵の体力

徹底して活動するためにも、まずは「身体」が基本。
10kmのジョギングは欠かさず、フットワークは随一。

熱意と正義感

「良いモノは良い」「悪いモノは悪い」
引き続き、熱く熱く「是々非々」を貫いてまいります!



議会、街中、あらゆる場所が「スタジオ」と化す。
広島市政の「今」を分かりやすく伝える、全国初?の議会広報番組

市会の 視界TV

(しかいのしかいティヴィ)



私の公式サイト内「YouTube」へのリンクからご覧になれます♪

中心地の活性化と、交流人口の増加を目指して
**広島市の都心部へ
複合型サッカースタジアムを!**



*「複合施設型」です。サッカー専用施設ではありません。